



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 6 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 26 年 9～10 月
3. 出張目的 合成性フェロモントラップを用いた害虫個体群密度調査の検証：B

4. 成果の概要

本課題では、タイ東北部における交信かく乱法によるズイムシ類防除法を開発するため、害虫個体群密度調査に合成性フェロモントラップが利用できるか検証することとなっている。そのため、圃場における見取り調査等により圃場におけるズイムシ類の種構成を明らかにする調査と、圃場に設置した合成性フェロモントラップに誘殺されるズイムシ類の同定が行われている。

本出張において、それらの試験の結果を検証したところ、サトウキビの生育にとって最も大切な生育初期に発生し加害するズイムシの種名が明らかになり、その種が合成性フェロモントラップで誘引できることが確認された。